



- 1 「長閑の湯」の浴室はなんと畳敷き。温泉に加水することなく浴槽内に溢れる湯
- 2 食事処「一福庵」。夕食・朝食ともこの囲炉裏で
- 3 喫茶室などの館内すべてに独特の和の美意識が張り巡らされている
- 4・5 供される料理は奥飛騨の地の素材を使ったものだった
- 6 新館の客室「たんぼぼ」に満ちる清々しさ。雪景色を眺める最高の場所だ

築120年の古民家を移築した母屋。遥かな高みにある天井まで吹き抜けになったエントランスに一歩足を踏み入れれば、匠の技が息づくその空間に魅入られる。そこには和風モダンな世界が広がっていた。樹林の中に溶け込むように、ひっそりと佇む宿。雪が降れば、周囲は純白の水墨画に塗り替わる。その瞬間、至福の風景に旅人は会える。

特筆すべきは、珠玉の料理。「吉の膳」から「参の膳」まで供される料理は、飛騨牛や川魚など奥飛騨の素材から生み出される創意あふれる皿の数々となって、囲炉裏の温もりの中に現れる。

客室から離れた温泉棟も端正だ。檜やあすなろなどの木曾五木を組んで作られた奥飛騨屈指の内湯。畳の脱衣所は、湯船のすぐ近くにあり、昔の湯治場を彷彿させる。2方向にとられた窓からは絵画のような自然美が楽しめる。内湯から続く露天風呂は渓谷沿いにあり、冬は水墨画のような雪景色と一体化したような感覚に浸れるだろう。

古さが新しさを生み、素朴さが奥行きを作り出す。思えばそれこそが、この旅荘がもつ魅力そのものなのだ。この冬、一度は訪れたい珠玉の宿である。

岐阜県・新平湯温泉

## 松宝苑

住所：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷一重ヶ根 205-128

TEL：0578-9-2244

http://www.syohoen.com

料：1泊2食1名 本館 ¥13,650、新館 ¥18,900

時：チェックイン 2：00PM / チェックアウト 10：00AM

室：15室 カード使用可

ACCESS：JR 高山本線高山駅より「新穂高温泉」行きバス約1時間

「福地温泉口」下車 / 長野自動車道松本ICより国道158号経由、車約1時間

古さと新しさの調和、  
深い雪が生み出す水墨画のような世界